

平成26年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

国語

【今年度の結果】

分類	区分	全国	尾道市	自校	全国との差
基礎・活用	教科全体	67.9	70.7	76.1	8.2
	基礎	70.4	72.7	77.8	7.4
	活用	59.0	63.4	70.3	11.3
領域	話すこと・聞くこと	74.7	77.2	82.8	8.1
	書くこと	69.5	69.8	77.1	7.6
	読むこと	62.3	64.8	71.9	9.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.1	74.2	77.4	7.3
観点	国語への関心・意欲・態度	69.5	71.0	76.7	7.2
	話す・聞く能力	74.7	77.2	82.8	8.1
	書く能力	66.3	67.4	75.0	8.7
	読む能力	62.3	64.8	71.9	9.6
	言語についての知識・理解・技能	69.7	73.7	77.3	7.6

【来年度の「基礎・基本」定着状況調査における目標値】

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
平成27年度	+1.0	+1.5	+0.5

※県平均との差を記入する。

R

重点課題(観点)

P

D

重点課題に対応した日常的な指導内容及び方法

C

検証スケジュール

1. 言語についての知識・理解
 ①主語・述語・修飾語などの文の成分や品詞について理解する。

②慣用句や類義語・対義語などの語彙を身に付ける。

2. 話す・聞く能力
 ①話の内容を正確に聞き取る。

②聞き手が理解しやすい話し方の工夫を身に付ける。

1-①
 記述や説明の場面において、正しい文を作るよう意識付けを行い、文法について扱う単元と結び付けて指導する。

1-②
 新出語句や頻出の語句など、その都度確認し、類義の語群や対義の語群として、整理しながら定着させる。

2-①
 スピーチや発表の場面において、メモをとりながら重要な部分を聞き取らせる。

2-②
 スピーチや発表の場面において、どのように話すことで聞き手によりよく伝わるか考えさせその工夫を評価させる。

・定期テストで出題し、定着状況を確認する。

・聞きとりテストを実施し、定着状況を確認する。

平成26年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

社会

【今年度の結果】

分類	区分	全国	尾道市	自校	全国との差
基礎・活用	教科全体	50.1	53.5	50.9	0.8
	基礎	52.9	55.9	53.7	0.8
	活用	34.0	39.6	35.2	1.2
領域	世界の地域構成	70.8	76.2	77.3	6.5
	世界各地の人々の生活と環境	62.4	63.6	66.9	4.5
	世界の地域構成諸地域	44.0	47.9	44.7	0.7
	古代までの日本	47.8	53.9	51.3	3.5
	中世の日本	39.5	35.1	26.2	-13.3
観点	社会的事象への関心・意欲・態度	41.4	45.6	41.8	0.4
	社会的な思考・判断・表現	41.7	44.5	40.2	-1.5
	資料活用 の 技能	52.4	55.0	51.7	-0.7
	社会的事象についての知識・理解	49.7	53.3	50.9	1.2

R 重点課題(観点)

- 1. 社会的な思考・判断・表現**
 ①とくに歴史的分野について、社会的事象間の因果関係を考える。
- ②知識・理解をもとに、グラフや図版等の資料について、説明する。
- 2. 資料活用 の 技能**
 ①知識・理解をもとに、グラフや図版等の資料を読みとる。
- ②複数の資料を比較して、情報をよみとる。

P D 重点課題に対応した日常的な指導内容及び方法

- 1-①
 社会的事象を言葉として学習させるのではなく、「なぜそうなるのか」を考えさせ、社会的事象間の因果関係を意識させる。
- 1-②
 資料からわかることを挙げさせ、それについて文章記述や口頭で説明させる。
- 2-①
 資料からわかることを文章で記述させる。
- 2-②
 資料を比較する視点を提示し、読みとりをさせる。

C 検証スケジュール

- ・定期テストに類似問題を出题し、定着状況を確認する。
- ・ワークシートに記述させ、定着状況を確認する。

平成26年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

数 学

【今年度の結果】

分類	区分	全国	尾道市	自校	全国との差
基礎・活用	教科全体	68.4	65.4	70.6	2.2
	基礎	72.8	69.2	73.8	1.0
	活用	52.0	50.8	58.3	6.3
領域	数と計算	79.7	76.7	80.0	0.3
	量と測定	67.1	65.0	71.7	4.6
	図形	73.9	68.9	74.4	0.5
	数量関係	53.7	51.2	57.5	3.8
観点	数学への関心・意欲・態度	54.6	53.2	60.4	5.8
	数学的な見方や考え方	55.0	53.0	59.7	4.7
	数学的な技能	74.0	72.0	77.0	3.0
	数量や図形などについての知識・理解	64.1	58.6	64.0	-0.1

【来年度の「基礎・基本」定着状況調査における目標値】

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
平成27年度	+1.0	+1.0	+1.0

※県平均との差を記入する。

R

重点課題(観点)

P

D

重点課題に対応した日常的な指導内容及び方法

C

検証スケジュール

1. 数量や図形などについての知識・理解

① 単位量あたりの値を求める式を理解できる。

② 比例の関係が理解できる。

2. 数学的な見方・考え方

① 与えられた図の数学的な意味を理解できる。

② 文字式が表わしている数量がわかる。

1-① 日常生活と結びつけて、様々な場面で単位量あたりの値を求める式を立式させる。

1-② 日常の中にある関数の関係を見つけさせる。

2-① 文章を読み、与えられた数量関係を図を使って表現させる。

2-② 具体的な事象の中から数量関係を見出させ文字を使って表現させる。

・小テストを行い、定着状況を確認する。

・類似問題を2学期末に出題し、定着状況を確認する。

平成26年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

理科

【今年度の結果】

分類	区分	全国	尾道市	自校	全国との差
基礎・活用	教科全体	63.6	59.4	62.5	-1.1
	基礎	63.5	59.3	61.7	-1.8
	活用	64.0	59.8	65.8	1.8
領域	物質・エネルギー	63.2	58.1	61.8	-1.4
	生命・地球	63.8	60.2	62.9	-0.9
観点	自然事象への関心・意欲・態度	60.6	54.6	59.9	-0.7
	科学的な思考・表現	62.1	57.2	59.6	-2.5
	観察・実験の技能	75.3	70.6	77.1	1.8
	自然事象についての知識・理解	62.0	58.4	60.4	-1.6

【来年度の「基礎・基本」定着状況調査における目標値】

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
平成27年度	+1.0	+1.0	+0.5

※県平均との差を記入する。

R

重点課題(観点)

P

D

重点課題に対応した日常的な指導内容及び方法

C

検証スケジュール

1. 科学的な思考・表現

1-①物理的な現象の規則性を説明させる。

1-②規則性を求めるための過程を説明させる。

2. 自然事象についての知識・理解

2-①生物のはたらきを理解する。

2-②生物のはたらきと物質の出入りを理解する。

1-①実験や観察の際、その結果を考察・結論に結びつける過程で、視点を提示するとともに、生徒同士の相互作用を重視した取り組みを行う。

1-②実験や観察の際、考察・結論に結びつけるまでの過程を発表させる。

2-①生物の活動がどのような目的のために行われているかの意味を理解させる中で学習を展開する。

2-②生物のはたらきを細胞の活動と関連付けて考えさせる。

・系統的に思考を展開できるワークシートの見直しを行い、記述状況から、定着状況を確認する。

・定期テスト時に、類似した問題を出題し、定着状況を確認する。